

自治体の課題、現状

- ・現在市内には、中学校が5校、義務教育学校が1校あるが、少子化の影響と部活動の自由参加により部員数が減少傾向にある。チームとしての参加人数に達しない学校は、他校との合同チームで参加している状況である。また、部員減少から学校として部活動数の見直しを進め、新入生の募集を行わない部活動も出てきた。やりたい活動の募集停止を受け、市外のクラブに所属する生徒も出ている。昨年から2つの部活動が廃部となる。
- ・また、競技経験のない教員の指導に係る負担や長時間労働など指導者の負担も増している。
- ・令和6年度から市教委直営のカサマジニアクラブを設置し、55部活動の内27部活動が休日学校から地域に移行したが、残り半数は指導者確保ができないため活動できない状況である。
- ・指導者の新たな掘り起こしが重要である。

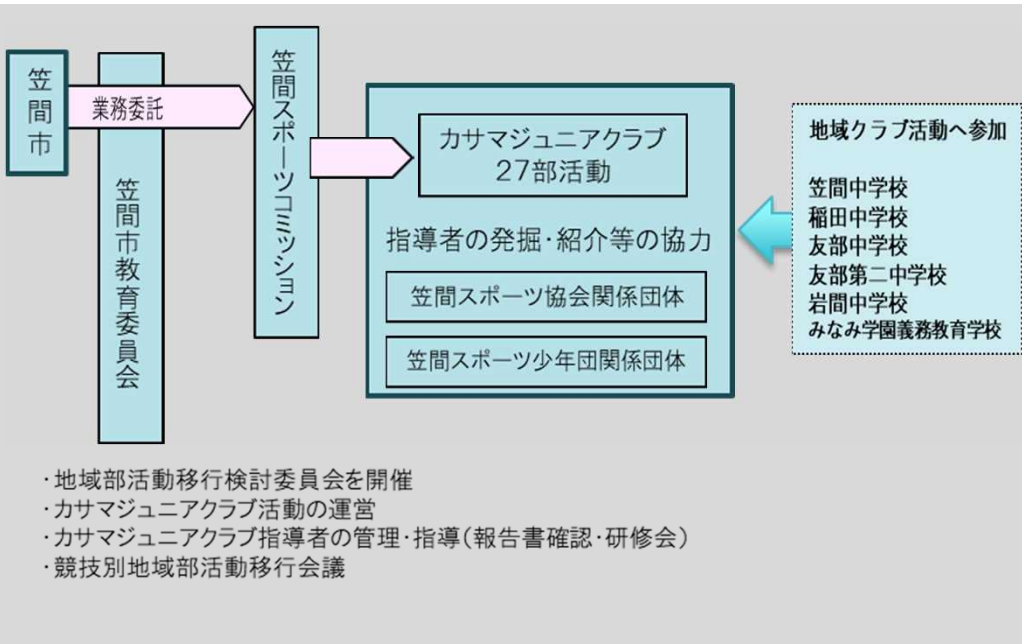
地域スポーツクラブ活動等の概要

中学校数	6校	全生徒数	1,884人
域内の部活動数	55部	実施した地域クラブ数	27クラブ
全体の指導者数	44人	全体の運営スタッフ数	3人
主な運営団体	教育委員会直営 カサマジニアクラブ		
主な種目	軟式野球、バレーボール、サッカー、バスケットボール、ソフトテニス・卓球、柔道、剣道、陸上、ソフトボール、相撲、ゴルフ		
平均的な活動回数	4回/月	年間平均参加生徒実数	3年：87人/クラブ 2年：132人/クラブ 1年：147人/クラブ
参加会費	0円/年	主な活動場所	市内6中学校

地域移行関連の取組、成果

- ・カサマジニアクラブ設置（27クラブ登録・44名指導者登録）
- ・土・日の活動に部活動指導員11名（市内55部活動の内、残り23部活動）
- ・地域部活動移行検討委員会を開催（年4回実施）
- ・市内中学校・義務教育学校への説明会実施（指導者として教員登録25名）
- ・部活個別の保護者説明会実施（卓球・バレーボール・陸上・柔道・剣道）
- ・保護者対象説明会実施（現1/2年生保護者、R7年度新入生保護者へ）
- ・競技別地域部活動移行会議（13競技実施 R7年度に向けた方向性確認）
- ・市スポーツ協会 各13競技の代表者会議実施（再度の協力依頼）

運営体制図



令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

茨城県笠間市

自治体名：茨城県笠間市

担当課名：笠間市教育委員会教育部学務課

電話番号：0296-77-1101（内線378）

本報告書は、スポーツ庁の「令和6年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業（運動部活動の地域移行等に向けた実証事業）」の一貫として、茨城県が実施した「令和6年度運動部活動の地域移行に向けた実証事業」の成果をとりとめたものです。

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	240.4km ²
人口	70,794人
公立中学校数	6 校
公立中学校生徒数	1,884 人
部活動数	55 部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	地域部活動移行検討委員会設置
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	推進計画策定中 ロードマップ策定

地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

現在市内には、中学校が5校、義務教育学校が1校あるが、少子化の影響と部活動の自由参加により部員数が減少傾向にある。チームとしての参加人数に達しない学校は、他校との合同チームで参加している状況である。また、部員減少から学校として部活動数の見直しを進め、新入生の募集を行わない部活動も出てきた。やりたい活動の募集停止を受け、市外のクラブに

所属する生徒も出ている。昨年から2つの部活動が廃部となる。

また、競技経験のない教員の指導に係る負担や長時間労働など指導者の負担も増している。

部員不足や指導者の負担増などから従来の部活動の維持が困難になっている。

平成17年度 生徒数 2,293人
平成27年度 生徒数 2,100人
令和 6年度 生徒数 1,884人
17年前から409人減

部活動全体
令和5年度 生徒数 1,783人
部員数 1,624人
加入率 91%
令和6年度 生徒数 1,884人
部員数 1,622人
加入率 86%

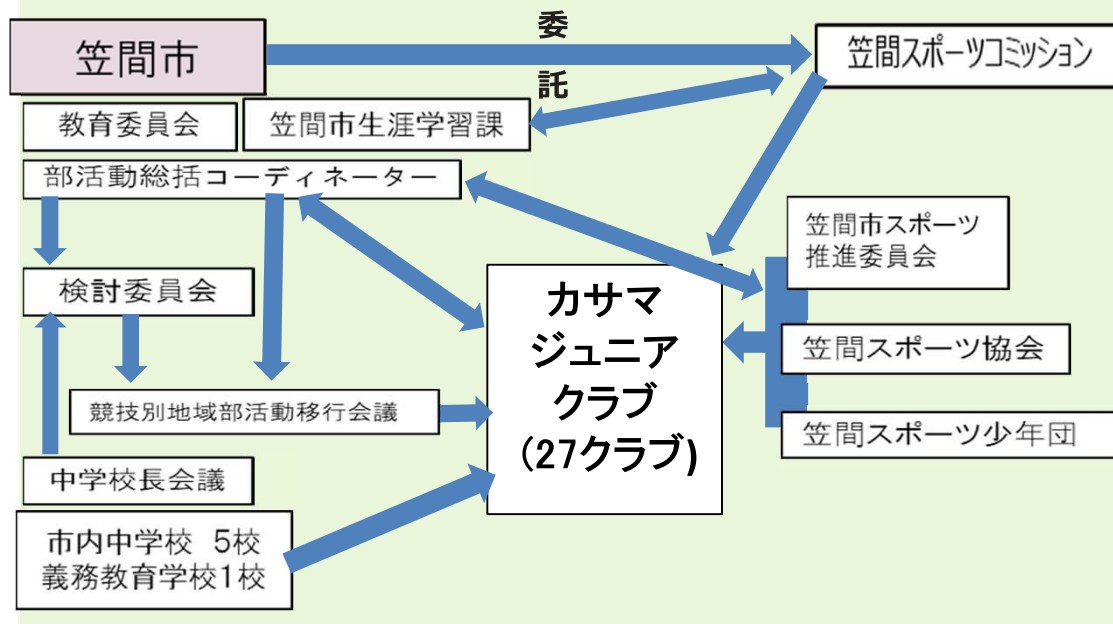
運動部員数
令和5年度 生徒数 1,783人
部員数 1,212人
加入率 68%
令和6年度 生徒数 1,884人
部員数 1,312人
加入率 69.6%

文化部員数
令和5年度 生徒数 1,783人
部員数 260人
加入率 14.6%
令和6年度 生徒数 1,884人
部員数 310人
加入率 16.5%

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

(秘書課)

情報提供（市民への広報）

◎教育委員会（学務課）

部活動総括コーディネーター1名を配置

- ・委託先：笠間スポーツコミッションとの連携 ・指導者掘り起こし
- ・カサマジュニアクラブ登録毎月（スポーツ安全保険加入等）
- ・指導者登録後委託先に指導者登録名簿提出 ・指導者の研修
- ・指導報告書作成後委託先に提出 毎月

年間の事業スケジュール

- 4月からカサマジュニアクラブスタート（KJC）。令和6年2月から登録開始。4月1日現在、中学生40名の登録、指導者14名登録。休日の活動を通して、クラブ化に向け課題の把握、運営基盤の整備に向け取り組む。保護者、生徒対象の説明会実施(新入生対象)
- 4月 KJC登録（生徒分）登録状況確認、登録準備（保険加入手続き、毎月実施）。地域クラブ活動指導者人材バンク登録申請書確認、登録準備。(毎月実施)
- 第1回検討委員会 4/30
- 5月 笠間市スポーツ少年団役員会への協力依頼
笠間市スポーツ協会理事会への協力依頼
委託先へ指導者活動報告書提出（毎月実施）
- 6月 関係団体とヒアリング（笠間陸上競技クラブ・友部弓道クラブ・笠間市スポーツ協会事務局）
- 7月 第2回検討委員会 7/16
- 8月 野球競技地域部活動移行会議 8/17
- 9月 バレーボール競技地域部活動移行会議9/26
- 10月 第3回検討委員会 10/29
(陸上・バスケットボール)競技地域部活動移行会議 10/8.30
- 11月 (ゴルフ・サッカー・卓球・柔道) 競技地域部活動移行会議 11/6.19.25.27
- 12月 生徒へのアンケート調査実施 各競技地域部活動移行会議の報告会（保護者対象）
- 1月 (ソフトテニス・相撲・剣道) 競技地域部活動移行会議 1/16. 21.
第4回検討委員会1/30
- 2月 令和7年度に向け、登録開始
- 3月 事業完了報告書・成果報告書等の作成

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	6 校	実施した地域クラブ総数	27 クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		カサマジニア クラブ（27 部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0 クラブ
全体の指導者数	4 4 人	全体の運営スタッフ数	3 人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
カサマジニア クラブ	教育委員会直営	卓球 みなみ学園義務教育学校（新）	月 4 回／ 週 1 回	9 時～ 1 2 時	7 年 4 人 8 年 5 人	12 月～ 3 月	みなみ学園義務教育学校卓球場	2 人	3 人（内、兼務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部活動
カサマジニア クラブ	教育委員会直営	バレーボール 友部中男子（新）	月 4 回／ 週 1 回	9 時～ 1 2 時	1 年 0 人 2 年 5 人 3 年 5 人	5 月～3 月	友部中学校体育館	1 人	3 人（内、兼務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部活動
カサマジニア クラブ	教育委員会直営	相撲 友部中（新）	月 4 回／ 週 1 回	9 時～ 1 2 時	1 年 1 人 2 年 2 人 3 年 3 人	5 月～3 月	友部中学校相撲場	3 人	3 人（内、兼務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
カサマジュニアクラブ	教育委員会直営	卓球 友部二中男女（新）	月 4 回／ 週 1 回	9 時～ 1 2 時	1 年 13 人 2 年 8 人 3 年 7 人	5 月～3 月	友部二中卓球場	1 人	3 人（内、兼務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部活動
カサマジュニアクラブ	教育委員会直営	剣道 笠間中（新）	月 4 回／ 週 1 回	8 時～ 1 1 時	1 年 3 人 2 年 5 人 3 年 4 人	5 月～3 月	笠間中武道館	2 人	3 人（内、兼務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部活動
カサマジュニアクラブ	教育委員会直営	卓球 岩間中男子（新）	月 4 回／ 週 1 回	9 時～ 1 2 時	1 年 7 人 2 年 14 人 3 年 11 人	5 月～3 月	岩間中卓球場	2 人	3 人（内、兼務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部活動
カサマジュニアクラブ	教育委員会直営	バレーボール 笠間中女子（新）	月 4 回／ 週 1 回	8 時～ 1 1 時	1 年 4 人 2 年 2 人	5 月～3 月	笠間中校体育館	1 人	3 人（内、兼務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部活動
カサマジュニアクラブ	教育委員会直営	バレーボール 友部中女子（新）	月 4 回／ 週 1 回	9 時～ 1 2 時	1 年 1 人 2 年 10 人 3 年 5 人	5 月～3 月	友部中体育館	1 人	3 人（内、兼務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部活動
カサマジュニアクラブ	教育委員会直営	卓球 笠間中男子（新）	月 4 回／ 週 1 回	8 時～ 1 1 時	1 年 10 人 2 年 6 人 3 年 6 人	6 月～3 月	笠間中体育館	2 人	3 人（内、兼務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
カサマジニアクラブ	教育委員会直営	卓球 岩間中女子 （新）	月 4 回／ 週 1 回	9 時～ 12 時	1 年 3 人 2 年 3 人 3 年 6 人	5 月～3 月	岩間中卓球場	2 人	3 人（内、兼務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部活動
カサマジニアクラブ	教育委員会直営	ソフトボール 友部中女子 （新）	月 4 回／ 週 1 回	9 時～ 12 時	1 年 2 人 2 年 3 人 3 年 11 人	5 月～3 月	友部中グラウンド	1 人	3 人（内、兼務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部活動
カサマジニアクラブ	教育委員会直営	卓球 笠間中女子 （新）	月 4 回／ 週 1 回	8 時～ 11 時	1 年 2 人 2 年 2 人 3 年 3 人	6 月～3 月	笠間中体育館	2 人	3 人（内、兼務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部活動
カサマジニアクラブ	教育委員会直営	陸上 笠間中 （新）	月 4 回／ 週 1 回	8 時～ 11 時	1 年 10 人 2 年 3 人 3 年 2 人	6 月～3 月	笠間中グラウンド	3 人	3 人（内、兼務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部活動
カサマジニアクラブ	教育委員会直営	ソフトテニス 笠間中男子 （新）	月 4 回／ 週 1 回	8 時～ 11 時	1 年 7 人 2 年 4 人	6 月～3 月	笠間中テニスコート	1 人	3 人（内、兼務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部活動
カサマジニアクラブ	教育委員会直営	バスケットボール 笠間中男子 （新）	月 4 回／ 週 1 回	8 時～ 11 時	1 年 6 人 2 年 7 人 3 年 1 人	6 月～3 月	笠間中体育館	2 人	3 人（内、兼務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 （学年別）	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 （他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
カサマジュニアクラブ	教育委員会直営	ソフトテニス 笠間中女子 （新）	月 4 回／ 週 1 回	8 時～ 1 1 時	1 年 3 人 2 年 2 人 3 年 1 人	6 月～ 3 月	笠間中 テニスコート	1 人	3 人（内、兼 務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部 活動
カサマジュニアクラブ	教育委員会直営	サッカー 笠間中 （新）	月 4 回／ 週 1 回	8 時～ 1 1 時	1 年 3 人 2 年 10 人 3 年 4 人	6 月～ 3 月	笠間中 グラウンド	2 人	3 人（内、兼 務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部 活動
カサマジュニアクラブ	教育委員会直営	バスケットボール 笠間中女子 （新）	月 4 回／ 週 1 回	8 時～ 1 1 時	1 年 4 人 2 年 2 人 3 年 3 人	6 月～ 3 月	笠間中 体育館	2 人	3 人（内、兼 務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部 活動
カサマジュニアクラブ	教育委員会直営	野球 笠間中 （新）	9 か月／ 1 回	8 時～ 1 1 時	1 年 3 人	7 月	笠間中 グラウンド	2 人	3 人（内、兼 務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部 活動
カサマジュニアクラブ	教育委員会直営	剣道 友部中 （新）	月 4 回／ 週 1 回	9 時～ 1 2 時	1 年 7 人 2 年 11 人	11 月～ 3 月	友部中 武道館	2 人	3 人（内、兼 務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部 活動
カサマジュニアクラブ	教育委員会直営	柔道 友部中 （新）	月 4 回／ 週 1 回	9 時～ 1 2 時	1 年 1 人 2 年 1 人	12 月～ 3 月	友部中 武道館	1 人	3 人（内、兼 務 3 人）	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部 活動

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
カサマジニアクラブ	教育委員会直営	ソフトテニス 稲田中男子 (新)	月 4 回／ 週 1 回	9 時～ 12 時	1 年 3 人 2 年 1 人	12 月～ 3 月	稲田中 テニスコート	1 人	3 人 (内、兼 務 3 人)	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部 活動
カサマジニアクラブ	教育委員会直営	サッカー 稲田中 (新)	月 4 回／ 週 1 回	9 時～ 12 時	1 年 3 人 2 年 5 人	12 月～ 3 月	稲田中 グラウンド	1 人	3 人 (内、兼 務 3 人)	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部 活動
カサマジニアクラブ	教育委員会直営	柔道 友部二中 (新)	月 4 回／ 週 1 回	9 時～ 12 時	1 年 8 人 2 年 6 人 3 年 1 人	5 月～3 月	友部二中 柔道場	1 人	3 人 (内、兼 務 3 人)	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部 活動
カサマジニアクラブ	教育委員会直営	ゴルフ みなみ学園義 務教育学校 (新)	月 4 回／ 週 1 回	9 時～ 12 時	7 年 7 人 8 年 2 人 9 年 2 人	5 月～3 月	みなみ学 園義務教 育学校 卓球場	3 人	3 人 (内、兼 務 3 人)	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部 活動
カサマジニアクラブ	教育委員会直営	卓球 友部二中女 子 (新)	月 4 回／ 週 1 回	9 時～ 12 時	1 年 5 人 2 年 1 人 3 年 4 人	5 月～3 月	友部二中 卓球場	1 人	3 人 (内、兼 務 3 人)	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部 活動
カサマジニアクラブ	教育委員会直営	柔道 笠間中 (新)	月 4 回／ 週 1 回	8 時～ 11 時	1 年 2 人	12 月～ 3 月	笠間中 柔道場	1 人	3 人 (内、兼 務 3 人)	月会費 0 円 年会費 0 円	中体連：部 活動

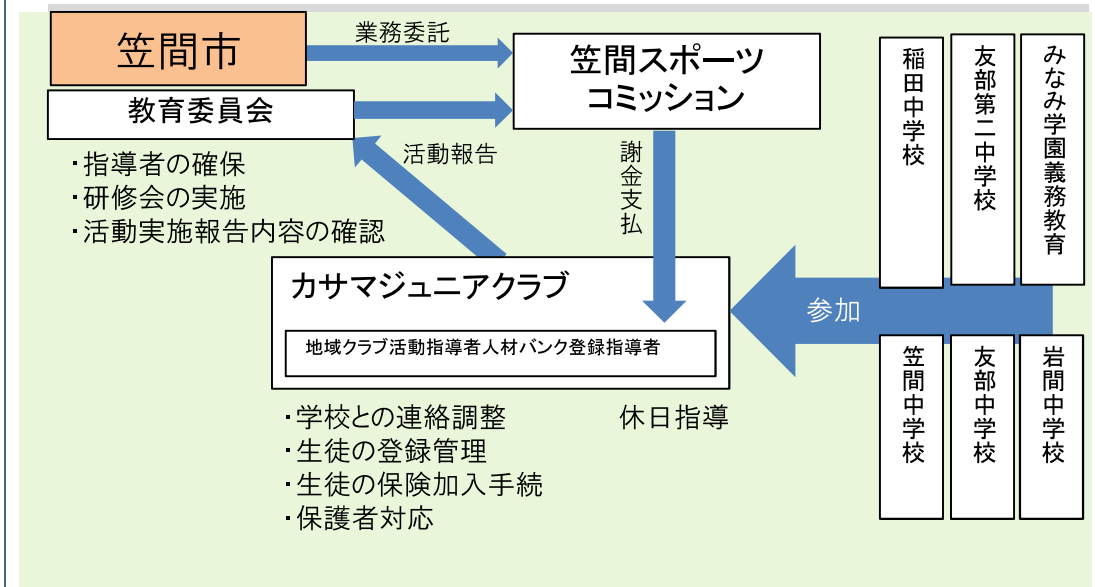
2.実証内容と成果

主な取組例

●カサマジニアクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ゴルフ、剣道
運営団体名	カサマジニアクラブ
期間と日数	ゴルフ：5月4日～3月30日 月4程度 剣道：5月25日～3月30日 月4回程度
指導者の主な属性	市役所職員・教員再雇用職員
活動場所	穴戸ヒルズカントリークラブ練習場 笠間中学校武道館
主な移動手段	自転車・通学バス・保護者送迎
1人あたりの参加会費等（年額）	ゴルフ：0円 剣道：0円
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

●統括責任者

役割：カサマジニアクラブの登録及び指導者の登録。指導者、学校との連絡調整を行う

●主任指導者 1名

役割：中学生の技術指導を行う

●運営補助者 1名

役割：出席の確認等を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・新入生保護者説明
- ・地域部活動移行検討委員会を年4回実施
- ・スポーツ少年団役員会への協力依頼
- ・スポーツ協会理事会への協力依頼（指導者の確保）
- ・競技別地域部活動移行会議の実施

取組の成果

・市内総合体育大会を見学に行ったことで情報が入る。各競技において、部活動地域移行の進み方の違いが見えてきたことから、競技別地域部活動移行会議の必要性を感じた。

・8月から順次13競技の会議を開催。競技によっては、休日の活動が十分可能な部分と時間的に難しい部分とが混在している状況であることが把握できた。また、学校側の反応としては、大会を重視している面が難しさを増しているようである。休日の活動そのものが、他校との練習試合や地方大会への参加について難色を示す教員と保護者がいることが現状の姿である。関係者と直接話し合いを重ねることから多くの課題が見えてきたことが大きな成果と言える。

< 各競技地域部活動移行会議 >

野球 8/17 バレーボール 9/26
陸上 10/8 バasketボール 10/30
ゴルフ 11/6 サッカー 11/19
卓球 11/25 柔道 11/27
ソフトテニス 1/16 剣道1/21
相撲 1/21

コーディネーターの具体的な動きの実績

・卓球競技指導者マッチング作業（岩間中学校）4/3 ・新入生保護者説明（岩間中学校）4/15 ・笠間市スポーツ少年団役員で協力依頼（カサマジニアクラブのPR）4/11 ・笠間市スポーツ協会事務局長にカサマジニアクラブのPRの協力依頼4/16 ・笠間市校長会においてカサマジニアクラブのPR4/17 ・地域部活動移行第1～4回検討委員会4/30,7/16,10/29,1/30 ・総合型地域スポーツクラブ「Ibaraki community Association」の代表者と部活動移行について協議6/10 ・陸上競技について笠間陸上競技クラブ代表者と協議6/11 ・ソフトボール指導者と協議6/12 ・笠間市校長会において連絡ツール（テトル）使用について協力依頼6/24 ・アストロプラネッツベースボールスクールへの協力依頼6/26 ・野球競技地域部活動移行会議に向けて中体連野球専門部長と協議7/8 ・野球競技地域部活動移行会議に向けて参加者に事前の連絡作業（電話）7/9 ・野球競技地域部活動移行会議依頼文（学務課起案）7/16 各競技地域部活動移行会議 同様に残り12競技行う。・県主催部活動地域移行市町村担当者会議8/9 ・岩間中学校陸上部保護者説明会8/19 ・サッカー協会の役員と連絡調整の為笠間スポーツ協会事務局長に確認10/15 ・県主催部活動地域移行市町村担当者会議10/21 ・再度 サッカー協会の役員と連絡調整の為笠間スポーツ協会事務局長に確認10/22 ・笠間市運動公園管理者（NPO法人日本スポーツ振興協会）への協力依頼10/23 ・みなみ学園義務教育学校保護者会11/8 ・笠間市スポーツ協会柔道部理事会で協力依頼11/9 ・静岡県藤岡市来庁対応11/12 ・稲田中学校2・1年生の保護者説明会11/15,22 ・友部第二中学校保護者説明会12/4 ・岩間中学校保護者説明会12/4 ・市内中学校保護者説明会12/17 ・笠間スポーツ協会各競技部代表者会議1/23

今後の課題と対応方針

- ・休日の指導者確保（各中学生の指導を担当する指導者）
- ・笠間スポーツ協会及び笠間スポーツ少年団の指導者への協力依頼を行うことで、現在の各活動に中学生を加えた

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項	人材バンクの人数	登録者属性	種目	資格有無
- 指導者の属性を見ると、教員（再任用含）が25/44で57%であり、43%が地域の競技専門指導者である。 - 有資格者が少数であることから教職員以外の指導者について学校側（校長、教頭、部活動顧問）との面談を実施。学校で検討後採用。	44名	- 市役所職員 - 会社員・教員 - 消防署職員 - 定年退職者	- 野球・サッカー・剣道 - バスケットボール・柔道 - バレーボール・相撲 - ソフトテニス・卓球 - ソフトボール・ゴルフ - 陸上	- 有資格保持者 4人 - 無資格者 40人
	人材バンクの年齢構成			
	20代 10名			
	30代 11名			
	40代 7名			
	50代 8名			
	60代以上 8名			

取組の成果

- 指導者として採用するに当たって、初めて中学生の指導に当たる方と学校長、保護者、部員とのマッチング作業を実施し、採用について総合的に判断して指導者として決定している。
- 専門的な指導を受けることのできた中学生は、各種目において技術力が向上し、大会等ではその力を発揮していることを、実際に市内大会を見学に行き確認した。専門の指導者から指導を受けた中学生の感想は、動きに無駄な動きが少なくなってきた。と話している。
- 中学生に指導できる地域人材の掘り起こしによる新たな指導者の確保に向け取り組んできたが十分な指導者の確保には至っていない。
- 指導者確保に向けた方法の再検討が組織的に展開できる体制の整備が急務である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

指導者研修の内容

- ・教育長講話
競技の専門家として中学生に指導し、競技の良さを伝えてほしい。
- ・部活動総括コーディネーターからクラブ活動について
コンプライアンス研修、施設の管理等について
- ・笠間市消防署員から普通救命講習
応急手当と救命処置
心肺蘇生法(主に成人を対象)、
AEDの取り扱い
異物除去
大出血時の止血法

指導者研修の参加実績

- ・開催日： 3月26日・12月25日
- ・開催回数： 2回
- ・参加人数： 18人
- ・学校関係者については、学校にて(コンプライアンス研修・普通救命講習)実施しているため、今年度の参加は見送ることにした。

受講者の声

- ・市役所職員として採用2年未満の2名からは中学生に指導する際に配慮する点を学べたことは、これから技術面や精神面などの指導に役立させたいと思う。と話してくれた。
- ・上記以外の指導者については、専門競技指導者講習会や勤務先でコンプライアンス研修を定期的に受講している。また、普通救命講習については、勤務先(会社、事業所、中学校等)で定期的に受講している。

今後の課題と対応方針

- ・学校の教員が部活動を指導するためにカサマジニアクラブに登録してるが、異動等により継続した指導が難しくなることも考えられる。継続的に地域クラブを運営するためには、地域の指導者の発掘が重要である。また、地域のクラブとして活動するための基盤を市スポーツ協会、市スポーツ少年団の指導者と協議していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

- ・一般社団法人笠間スポーツコミッション
- ・笠間市スポーツ協会
- ・笠間市スポーツ少年団
- ・BACK BONE 合同会社
- ・カントリークラブザ・レイクス
- ・宍戸ヒルズカントリークラブ
- ・茨城アストロプラネッツベースボールスクール
- ・Ibaraki community Association
(総合型地域スポーツクラブ)
- ・NPO日本スポーツ振興協会
(笠間市総合公園指定管理者)
- ・上記団体と協議を重ね、休日の部活動をクラブ化できるよう推進。

取組の成果

- ・カサマジニアクラブ設立と同時に地域クラブ活動指導者人材バンクも設置するため、指導者謝金の支払い業務を一般社団法人笠間スポーツコミッションに委託した。
- ・競技別地域部活動移行会議を市競技団体の長、市スポーツ少年団指導者、市中学校体育連盟競技部長、各学校部活動顧問教員の参加のもと開催した。競技によっては、市スポーツ少年団の中学生の受け入れや団体として休日の練習の指導を行っていただける競技等が現れてきた。
- ・笠間市スポーツ協会事務局へ定期的（火曜日の午前中）に行き部活動地域移行に関する情報を伝え、今後の対応について協議してきた。中学校の部活動（13競技）の代表者2名による協議に進めることができたこと。
- ・笠間市総合公園指定管理者のNPO日本スポーツ振興協会では、中学生の活動に必要な施設について、利用しやすいよう配慮をいただけることになった。

今後の課題と対応方針

- ・カサマジニアクラブに参加するためには、中学生個人の自転車、徒歩で参加している。（練習会場は基本的に、自分の学校で行っている。）
- ・今後、生徒数の減少により単独での活動が困難になり市内の何校かが合同で実施する場合、バス等の運行が必要になることも想定し対応策を考えることになる。

バス等の運行実績

- ・実績なし

バス等の運行経費・収入

- ・今後バス等の運行を検討

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 エ：面的・広域的な取組

取組事項

- ・笠間市総合公園指定管理者と会場使用に関する打合せ。
- ・市内の業者と部員の送迎について、協議する。

各自治体の役割

- ・登下校に活用している送迎のバスを有効活用できるよう検討。

移動手段

- ・自転車、徒歩、保護者の送迎。

事務局運営の方法

- ・連絡調整、業者との交渉等について学務課の協力を得て進めている。

取組の成果

- ・NPO日本スポーツ振興協会（笠間市総合公園指定管理者）との協議を繰り返し、ソフトテニス競技について、中学生の所属しているクラブに対して、土曜日・日曜日の利用においてできる範囲での協力をしてくれるということまで進められた。
- ・笠間市内小中学校の登下校を担当しているレンタカー会社に部活動地域移行に向けた取組として、中学生の送迎を依頼したいが、方法、送迎料金等の検討をしてくれるということまで進められた。

今後の課題と対応方針

- ・会場使用料金や送迎バス等の費用について保護者の費用負担軽減。
- ・企業の協力を得るための方法の検討。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実①

取組事項

- ・カサマジュニアクラブ設立、運営
- ・指導者の確保（運動部活動55部の指導者）
 - 野球部 5部活動を1チームにする(指導者2名)
 - サッカー部 2部（指導者3名）
 - 男子バスケットボール部 1部（指導者2名）
 - 女子バスケットボール部 1部（指導者2名）
 - 男子バレーボール、部 1部（指導者1名）
 - 女子バレーボール、部 2部（指導者2名）
 - 男子ソフトテニス部 2部（指導者2名）
 - 女子ソフトテニス部 1部（指導者1名）
 - 男子卓球部 4部（指導者5名）
 - 男女卓球部 1部（指導者2名）
 - 女子卓球部 3部（指導者4名）
 - 女子ソフトボール部 1部（指導者1名）
 - 剣道部 4部（指導者4名）
 - 柔道部 3部（指導者2名）
 - 陸上部 2部（指導者5名）
 - 相撲部 1部（指導者3名）
 - ゴルフ部 1部（指導者3名）

活動の詳細			
参加人数	366人	指導者数	44人
属性	教育委員会直営 カサマジュニアクラブ		
具体的な内容	・カサマジュニアクラブを教育委員会直営のクラブとして設置 ・地域クラブ活動指導者人材バンクを設置 ・中学生の登録受付、管理、スポーツ安全保険加入 ・指導者の登録受付、管理、学校とのマッチング作業 ・指導における安全管理（研修会の開催）		
生徒の声	● 専門的な指導が受けられることに感謝している ● 動作がスムーズになり競技力も向上した。 ● 自分の身体を自由に動かせることに感動した。（時間は半年かかった） ● 競技に対するやる気が高まってきた。		
関係者の声	● 令和8年度から自主運営できるようにするためには人的不足で困難である。保護者に協力を求めても快諾はいただけない。 ● クラブ運営に必要な会計処理や指導者への謝金の支払い手続きなど経験の無い者には困難である。 ● 中学生への専門的な指導は行えるが、運営までは考えていない。 ● 会場までの送迎が大変である。バス等の支援があるとありがたい。受益者負担では参加している中学生の人数が少ないため経済的負担が大きい。		
運営経費	委託費 14,98,857円 ・指導者謝金 ・指導者スポーツ安全保険料 ・その他諸経費 運営費 ・コーディネーター人件費、賃金 ・中学生の保険料 ・雑役務費		

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組の成果

- ・55の運動部を休日に地域で指導できる体制を目指してカサマジュニアクラブを設置した。年度初めは、14人の指導者で7部活動の指導からスタートした。2月の時点で指導者44名になり部活の数も27部活動に増加した。
- ・数年前から部活動指導員制度も活用し、本年度は11部活動で休日の練習を地域の指導者にお願いしている。
- ・カサマジュニアクラブと部活動指導員による休日の活動は、32部活動になり、残り23部活動まで進めることができた。

今後の課題と対応方針

- ・各競技の指導者の確保
- ・中学生に指導できる地域人材の掘り起こしによる新たな指導者の確保に向け取り組んでいく。また、現在、小学生対象にスポーツ少年団で指導をしている方へ再度協力依頼をする。

	笠間中	稲田中	友部中	友部二中	岩間中	みなみ学園
野球	部活動指導員 ジュニア クラブ		部活動指導員			
サッカー	指導員 ジュニア クラブ	ジュニア クラブ				
男子バスケット	ジュニア クラブ		部活動指導員			
女子バスケット	ジュニア クラブ					部活動指導員
男子バレーボール			ジュニア クラブ			
女子バレーボール	ジュニア クラブ		ジュニア クラブ			
男子ソフトテニス	ジュニア クラブ	ジュニア クラブ				
女子ソフトテニス	ジュニア クラブ					
男子卓球	ジュニア クラブ			ジュニア クラブ	ジュニア クラブ	ジュニア クラブ
女子卓球	ジュニア クラブ			ジュニア クラブ	ジュニア クラブ	
女子ソフトボール			ジュニア クラブ			
剣道	ジュニア クラブ		ジュニア クラブ			
柔道	部活動指導員 ジュニア クラブ		部活動指導員 ジュニア クラブ	部活動指導員 ジュニア クラブ		
陸上	ジュニア クラブ		部活動指導員			
相撲			ジュニア クラブ			
弓道		部活動指導員				
ゴルフ						部活動指導員 ジュニア クラブ

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等①

取組事項

- ・指導者のスポーツ安全保険料
 $1.850円 \times 48人分 = 88.800円$
- ・中学生のスポーツ安全保険料
 $800円 \times 1.000人分 = 800.000円$
- ・困難世帯の参加費用負担の支援
- ・指導者謝金
 $48名 \times 1600/h \times 3h \times 52週$
 $= 11.980.800円$

地域クラブに係る経費

■イニシャルコストの分析

- ・現在参加費については、徴収していない。
今後、受益者負担として徴収していく。

■ランニングコストの分析

- ・現在参加費については、徴収していない。
今後、受益者負担として徴収していく。

持続的な運営に必要な受益者負担額の試算

- ・110名指導員の保険料 $1.850円 \times 110人分 = 203.500円$
- ・55部活動の指導者として、110名の謝金27.456.000円
- ・指導者に係る費用 $203.500円 + 27.456.000円 = 27.659.500円$
- ・運動部員数1,300人
 $27.659.500円 \div 1.300人 = 21.277円(一人分負担額)$ 一月1.773円
- ・227円は、クラブ運営費として徴収
- ・受益者負担額 1月 2.000円（保険料800円別）

今後の課題と対応方針

- ・保険料、月会費、活動費の額を検討する。
- ・保護者の受益者負担軽減について検討する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 キ：学校施設の活用等

取組事項

- ・市内小・中学校施設の休日における、地域スポーツクラブ活動の学校施設の有効活用
- ・休日のクラブ活動に向け優先的な練習会場の確保を検討
- ・本年度実施校において、休日の各部活動との調整を実施

取組の成果

- ・市内中学校同士の合同練習等実施にあたり、調整を行うことで笠間中学校内の各部の協力が得られ中学校の体育館で実施することができた。
- ・各中学校の部活動地域移行を進める中で、地域のクラブが中学生を指導するために使用する学校施設の借用について、管理職に説明を行い快諾をいただけた。

今後の課題と対応方針

- ・地域のクラブ活動が今まで以上に休日に集中することになると学校独自の活動に対しての、調整を学校と関係団体で綿密に行わなければならないことが想定される。
- ・定期的な会場活用の調整会議の設置。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ク：その他の取組

取組事項

- ・笠間市内に拠点を置くプロスポーツ団体への協力依頼を行った。
①茨城アストロプラネッツ「アストロプラネッツベースボールスクール」
②「茨城アストロプラネッツU-15女子ソフトボールクラブチーム」
- ③BACK BONE 合同会社「3人制プロバスケットボールクラブ」

取組の成果

- ・アストロプラネッツベースボールスクールから事業開催について「動作解析体験イベント」の提案
- ・市内中学校に通う生徒が茨城アストロプラネッツU-15女子ソフトボールクラブチームへ所属した。県中学校体育大会への参加登録も済ませている。
- ・3人制プロバスケットボールクラブから岩間中学校と友部第二中学校を会場に3人制バスケットボール競技のデモンストレーションを行えるよう準備できるとの返事をいただいた。

今後の課題と対応方針

- ・アストロプラネッツベースボールスクールへ市内の中学生もスキルアップを目指して指導を受けている。今後、中学生の軟式野球チーム設立が地域としては期待している状況である。
- ・3人制プロバスケットボールクラブの教室に、練習会場の近くに住む市内中学生がスキルアップを目指して指導を受けている。今後、中学生のクラブチーム設立が地域としては期待している状況である。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

・本市の目標である「令和7年度末までに休日（土・日）の学校部活動すべてを完全に地域移行する」として、市スポーツ協会をはじめ各種スポーツ関係団体への協力依頼を重ね指導者の確保や地域クラブとして自主運営のできる団体構築を目指し、カサマジニアクラブの設置と地域クラブ活動指導者人材バンクを設置し、土曜日、日曜日の学校部活動を地域の指導者から指導を受けられるようになってきた。

市内中学校・義務教育学校の運動部については、55部活動に対して27の学校部活動が地域クラブとして活動している。また、地域移行に向けて導入した部活動指導員(5部)の活動もあり残り23部活動について、今後地域での活動に移行していけるよう指導者の確保に力を入れていく。

●成果の評価

- ・55運動部活動の休日展開に協力いただいた指導者44名。当初、事業計画時には48名の指導者を予定していた。指導者の確保については92%である。
- ・地域のクラブに所属している指導者の協力を得られたこと。クラブとは別に部活動の指導を行っていただいている。
- ・少数ではあるが、スポーツ少年団から中学校に進学しスポーツ少年団の競技と同じ部活動に入部した時点でスポーツ少年団からは離れていたが、その生徒の為ならとスポーツ少年団で休日指導をしていただけるようになった。
- ・本市においては、中学校の教員147名に対し27名の者が地域の指導者として活躍していただいている。(18.4%)

●今後に向けて

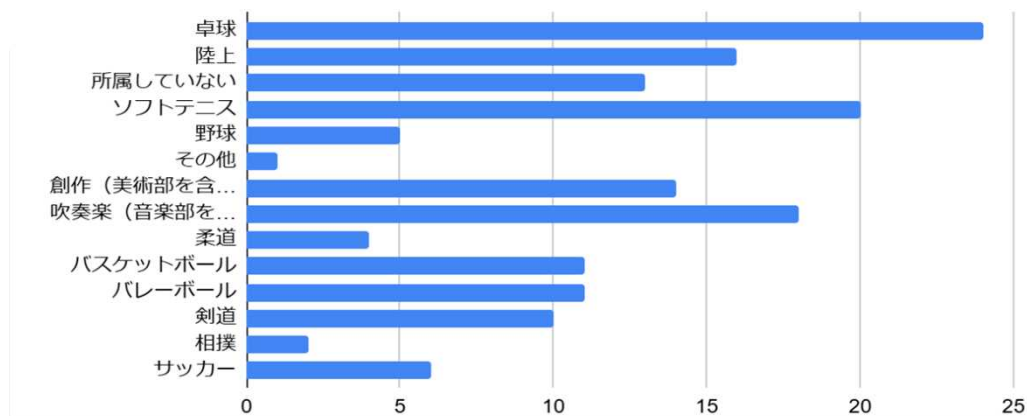
- ・生徒一人一人がニーズに応じたスポーツ・芸術・文化活動を楽しむことができる環境を整備することを目指し、カサマジニアクラブを基盤として、生徒の自主的・自発的な活動を支える運営団体の構築。

2.実証内容と成果②

アンケート結果

●アンケート結果

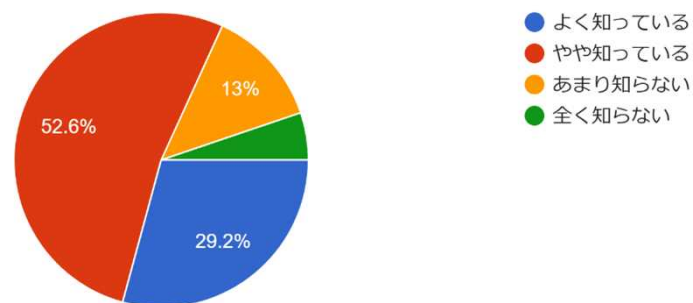
問1 今所属している学校部活動を選択してください



質問2 質問1で「その他」を選んだ場合、競技名を教えてください。

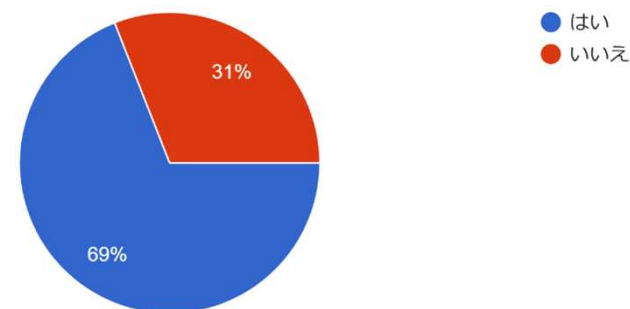
1500メートル
短距離
水泳
空手
ボルダリング

Q質問3 令和7年度末に向けて、学校部活動は土曜・日曜の活動を、学校から地域のクラブ活動に代わっていくことについて知っていますか。（「部活動地域移行」とも言われています）



＜令和8年4月からの土曜日・日曜日の学校部活動は行わない方向で進められております。もし、土曜日・日曜日の学校部活動が行われなくなると仮定して以下の質問に回答してください。＞

質問4 学習塾やスポーツ活動、習い事などに通ってますか



2.実証内容と成果②

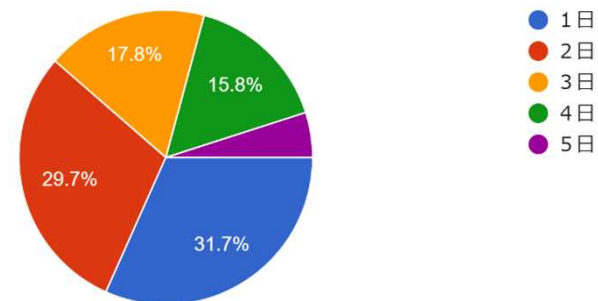
アンケート結果

●アンケート結果

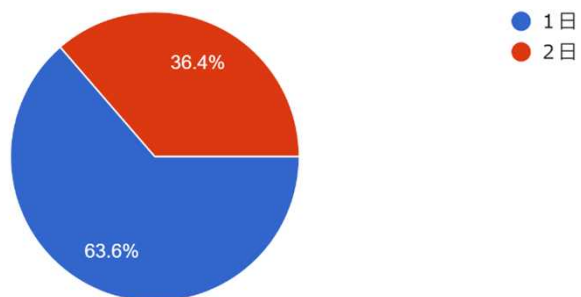
質問5 どんな習い事をしていますか



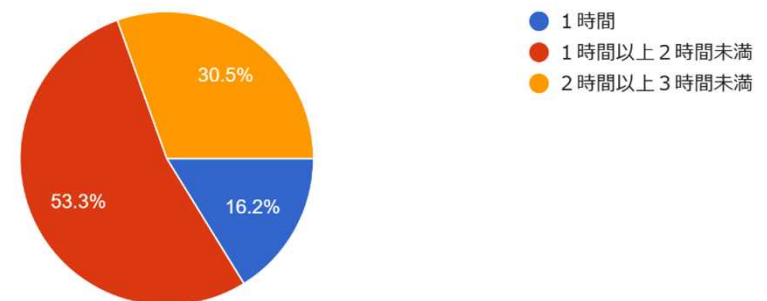
質問6 学校以外の習い事（学習塾・地域クラブ等）に平日は何日通っていますか



質問7 学校以外の習い事（学習塾・地域クラブ等）に休日は何日通っていますか



質問8 学校以外の習い事（学習塾・地域クラブ等）の平日1回の活動は何時間ですか

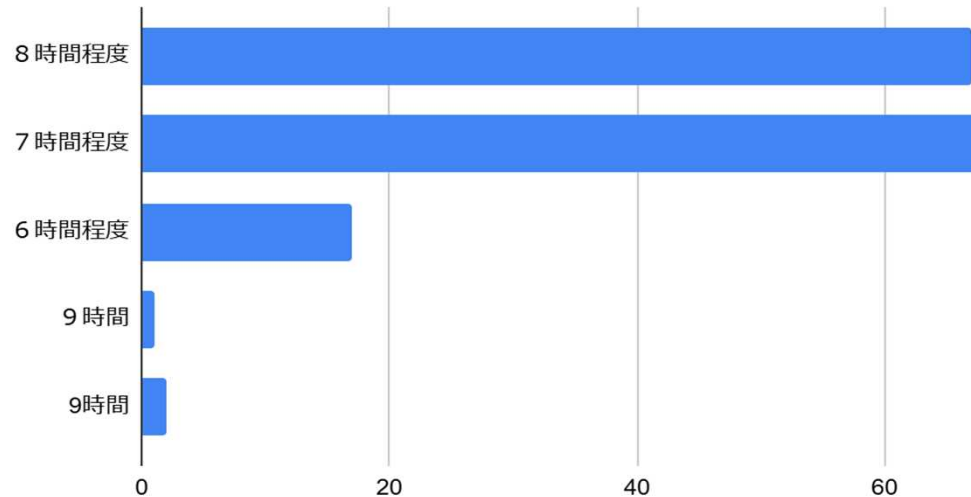


2.実証内容と成果②

アンケート結果

●アンケート結果

質問9 1日の睡眠時間は何時間ですか



【部活動に所属している人のみ回答】

質問11 部活動に所属している方に伺います。練習時間や内容、試合のメンバーなど部活動において自分たち（生徒同士）で決めたいと思いますか

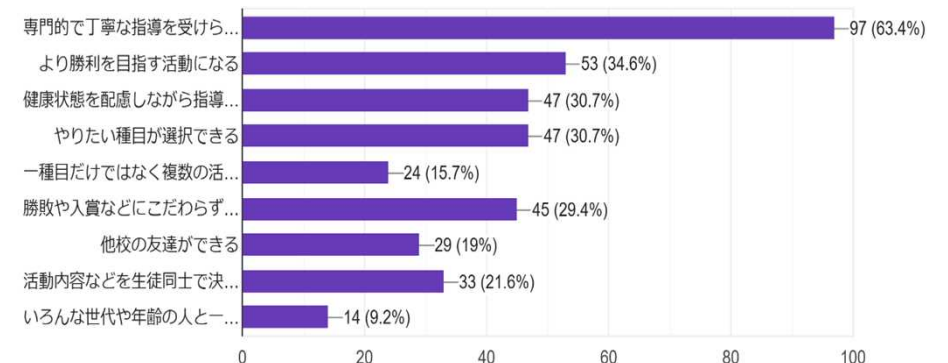


【部活動に所属している人のみ回答】 【部活動に所属していない人は質問12へ】

質問10 部活動に所属している方に伺います。現在、練習の時間や内容、試合のメンバーなど、自分たち（生徒同士）で決めていることはありますか



質問12 どんな文化・スポーツ活動なら、より満足できるものになると思いますか（最大3つまで回答可能）

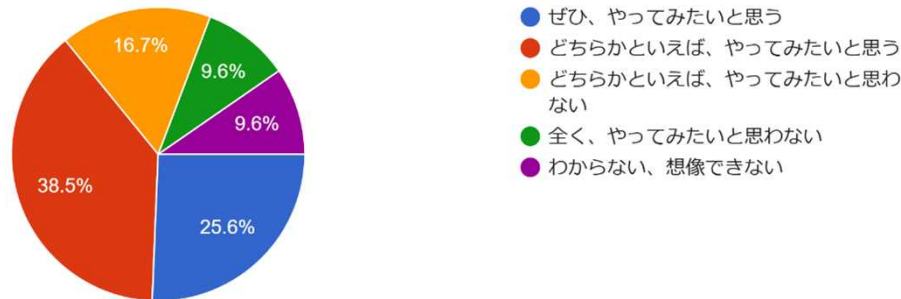


2.実証内容と成果②

アンケート結果

●アンケート結果

質問13 笠間市内で、別の学校の生徒と文化・スポーツ活動を一緒に活動したい
と思いますか。



<全国調査との比較>

「子どもたちの部活動における現状について」

1 部活動の地域移行に関する子どもの認知度について

(よく知っている・やや知っていると回答) 笠間市 = 81.7% 全国 = 28.3%

2 現在の部活動等における活動実態(時間・日数)について

(運動部 + 学校以外の習い事の年間活動時間) 笠間市 = 828 h/年 全国 = 744 h/年

3 子どもたちの部活動に対する主体性について

(自己決定の意志がある) 笠間市 = 71.1% 全国 = 89.3%

4 子どもたちの文化・スポーツ活動に対するニーズについて

(より勝利を目指したい生徒) 笠間市 = 38% 全国 = 27%

(より気楽に楽しみたい生徒) 笠間市 = 30.6% 全国 = 31%

5 子どもたちの地域活動への意欲について

(地域で活動してみたい生徒) 笠間市 = 63.7% 全国 = 70.5%

〔全国のデータは、「イマ・チャレ」第8号より〕

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



指導者研修会の様子（普通救命講習180分）



指導者研修会の様子（普通救命講習180分）



指導者研修会の様子（普通救命講習180分）



指導者研修会の様子（普通救命講習180分）

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



稲田中学校 テニスコートでのソフトテニス練習風景



稲田中学校 テニスコートでのソフトテニス練習風景



稲田中学校 グラウンドでのサッカー練習風景



稲田中学校 グラウンドでのサッカー練習風景

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



みなみ学園義務教育学校 穴戸ヒルズカントリークラブでのゴルフ練習風景



みなみ学園義務教育学校 穴戸ヒルズカントリークラブでのゴルフ練習風景



笠間中学校 武道館での剣道練習風景



笠間中学校 武道館での剣道練習風景

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



笠間中学校 武道館での柔道練習風景



笠間中学校 武道館での柔道練習風景



笠間中学校 テニスコートでの女子ソフトテニス練習風景



笠間中学校 テニスコートでの女子ソフトテニス練習風景

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



笠間中学校 グラウンドでの野球練習風景



笠間中学校 グラウンドでの野球練習風景



笠間中学校 テニスコートでの男子ソフトテニス練習風景



笠間中学校 テニスコートでの男子ソフトテニス練習風景

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



笠間中学校 グラウンドでのサッカー練習風景



笠間中学校 グラウンドでのサッカー練習風景



笠間中学校 グラウンドでの陸上練習風景



笠間中学校 グラウンドでの陸上練習風景

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



笠間中学校 体育館でのバレーボール練習風景



笠間中学校 体育館での女子バスケットボール練習風景



笠間中学校 体育館での男子バスケットボール練習風景



笠間中学校 体育館での男子バスケットボール練習風景

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



笠間中学校 体育館での男子卓球練習風景



笠間中学校 体育館での男子卓球練習風景



笠間中学校 体育館での女子卓球練習風景



笠間中学校 体育館での女子卓球練習風景

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



友部中学校 武道館での剣道練習風景



友部中学校 武道館での剣道練習風景



友部中学校 相撲場での相撲練習風景



友部中学校 相撲場での相撲練習風景

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



友部第二中学校 体育館での男子卓球練習風景



友部第二中学校 体育館での女子卓球練習風景



岩間中学校 卓球場での女子卓球練習風景



岩間中学校 卓球場での女子卓球練習風景

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和 6 年

検討委員会実施

令和 6 年

競技別地域部活動移行会議の実施

検討委員会

- 市中体連会長
市校長会長
各校体育主任・部活動主任
教育委員会学務課指導室長
笠間スポーツコミッション
教育委員会生涯学習課
- 経過
 - ・4月30日 第1回
 - ・7月16日 第2回
 - ・10月29日 第3回
 - ・1月30日 第4回
- 実施にあたって生じた課題
 - ・競技団体毎に話し合いをもつことは重要である
 - ・コーディネーター 1 人では進めずらいのではないか

競技別地域部活動移行会議

- 各競技団体の会長
市中学校体育連盟競技部長
スポーツ少年団代表者
地域クラブの代表者
各学校の部活動顧問
茨城県教育庁学校教育部保健体育課
競技スポーツ部活動地域移行担当指導主事
市教育委員会教育長
部活動総括コーディネーター
- 経過
 - ・野球競技 8月17日
 - ・バレーボール競技 9月26日
 - ・陸上競技 10月8日
 - ・バスケットボール 10月30日
 - ・ゴルフ競技 11月6日
 - ・サッカー競技 11月19日

● 経過

- ・卓球競技 11月25日
- ・柔道競技 11月27日
- ・ソフトテニス競技 1月16日
- ・相撲競技 1月21日
- ・剣道競技 1月21日

● 実施にあたって生じた課題

- ・参加者への連絡先を確認するための作業に時間が必要であったこと
- ・連絡先に連絡しても通じない状況があったこと
- ・市内のクラブを掌握している組織はなく、スポーツ協会、スポーツ少年団等、組織的に活動している団体に関係していない民間クラブへの連絡の難しさを感じた。

● 実施内容、工夫した点 等

- 競技別の会議を開催すること

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年

受け皿団体や指導者の選定

●笠間市スポーツ少年団・地域クラブ

・競技別地域部活動移行会議開催

（受け皿として活動頂けるか確認）団体に加入していただければ、休日の練習も可能になる

●協力団体

・野球部 ①baseball club TOMOBE U-15 ②笠間クラブ

・バスケットボール部 ①J.B.L.A.C.K.S ②友部イーグルスバスケットボールU-15 ③BACK BONE 合同会社

・女子バレーボール部 ①たんぽぽバレーボールスポーツ少年団 ②茨城球技クラブ

③Ibaraki community Association（総合型スポーツクラブ）

・ソフトテニス部 ①ソフトテニス友部クラブJH ②ソフトテニスクラブマイルド ③ソフトテニス友部ジュニアクラブ

・卓球部 ①水戸葵ジュニアクラブ ②岩間卓球スポーツ少年団

・剣道部 ①洗心館 ②友部剣友会 ③直心館飯島道場 ④岩間剣友会

・柔道部 ①友部柔道スポーツ少年団 ②一期柔道クラブ ③笠間柔道スポーツ少年団

・相撲部 ①友部相撲スポーツ少年団 ②カサマジニア相撲クラブ

・弓道部 ①友部弓道クラブ

・ソフトボール部 ①茨城アストロプラネッツU-15女子ソフトボールチーム

・サッカー部 ①フェリスジュニアユース

・陸上部 ①笠間陸上競技クラブ

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年

カサマジュニアクラブ活動の開始

● カサマジュニアクラブ

- ①みなみゴルフクラブ ②友部男子バレーボールクラブ ③友部相撲クラブ ④友部二男子卓球クラブ ⑤友部二女子卓球クラブ
⑥笠間剣道クラブ ⑦岩間男子卓球クラブ ⑧岩間女子卓球クラブ ⑨笠間女子バレーボールクラブ ⑩友部女子バレーボールクラブ
⑪笠間女子卓球クラブ ⑫笠間陸上クラブ ⑬笠間男子卓球クラブ ⑭友部女子ソフトボールクラブ ⑮笠間女子ソフトテニスクラブ
⑯笠間男子バスケットボールクラブ ⑰笠間女子バスケットボールクラブ ⑱笠間男子ソフトテニスクラブ ⑲笠間サッカークラブ
⑳笠間野球クラブ ㉑稲田男子ソフトテニスクラブ ㉒友部剣道クラブ ㉓稲田サッカークラブ ㉔友部二柔道クラブ ㉕笠間柔道クラブ
㉖友部柔道クラブ ㉗みなみ卓球クラブ

● 経過

- ・中学生の登録については、令和5年2月5日に市内中学校・義務教育学校に連絡
- ・生徒個人のタブレットを使用し、二次元コードを読み取り登録

令和5年2月25日から登録スタート

中学生のスポーツ安全保険加入4/25=29名・5/9=18名・5/24=154名・6/6=69名・7/4=22名・8/8=15名・9/5=4名・
10/3=5名・11/7=21名・12/5=7名・1/9=21名・2/6=2名（合計367名）

● 実施にあたって生じた課題

- ・市内を1つ又は2つに分けてクラブを実施した場合、会場までの送迎が困難である。・カサマジュニアクラブの指導体制では、1クラブに対し1名の指導者で対応するようになっている。緊急時の対応に不安がある。
- ・休日の大会等への参加ができないことは困る。

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和6年

生徒、保護者への説明

●市内中学校5校・義務教育学校1校

- ・カサマジュニアクラブについて説明
- ・令和6,7年度新入生保護者説明

●経過

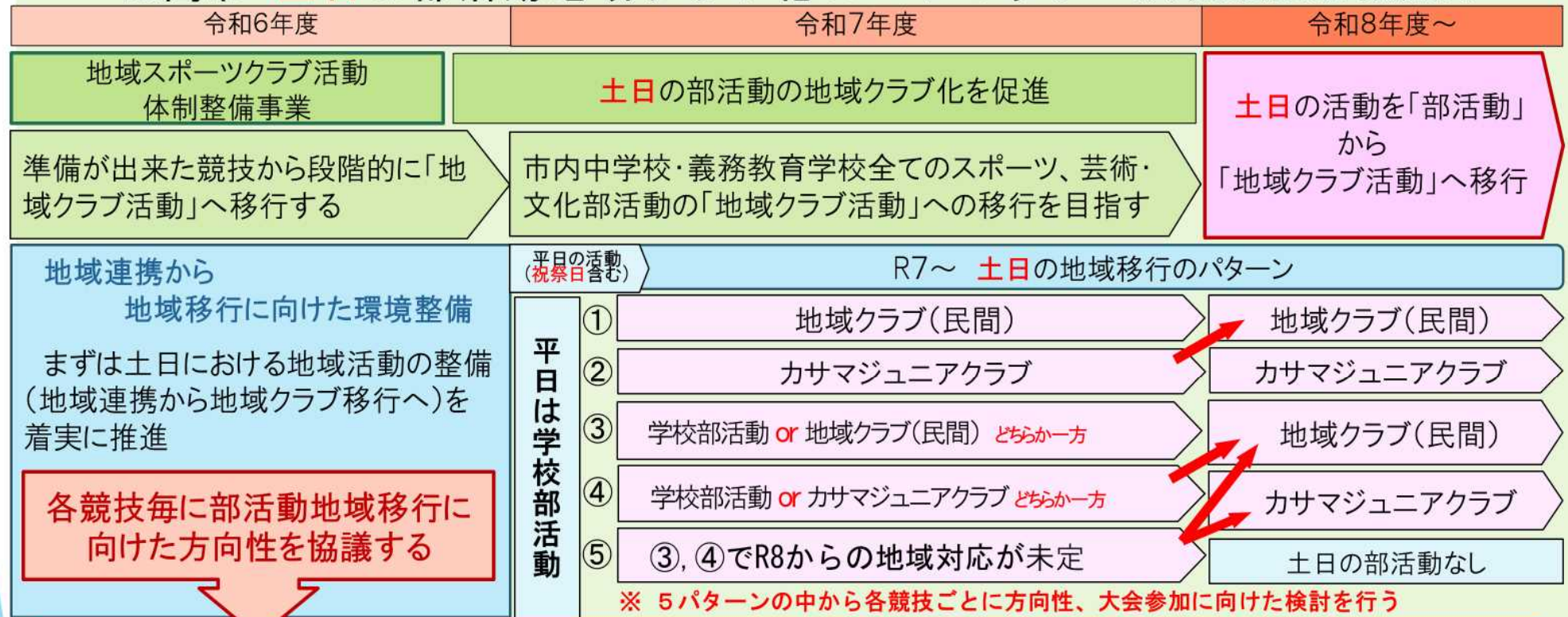
- ・令和6年度新入生保護者説明会 4/10,
- ・卓球部保護者説明会 4/15
- ・各学校保護者説明会 5/1, 9, 11/8, 15, 22, 12/4, 10
- ・陸上部保護者説明会 8/19
- ・市内保護者説明会 12/17
- ・令和7年度新入生保護者説明会 1/15, 24, 31

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

笠間市 土日 の部活動地域クラブ化ロードマップ

※今後変更になる可能性あり



まずは、**土日**の「学校部活動」から「地域クラブ活動」への**移行完了**を目指す。

※平日の移行まで完了できれば = 完全地域移行が完了

【大会参加に向けた検討も必要】

- ① 中体連主催の大会に地域クラブとして参加する場合は、学校からではなく地域クラブとして中体連に登録が必要。(二重登録は不可)
- ② 合同チームの場合、参加は1チームのみ。(〇〇クラブA, 〇〇クラブBのように複数の参加はできない)